

事務事業評価表（公共施設）

1次評価日（主幹等） 26年5月23日

2次評価日（課長等） 26年5月23日

1 事業名	おかや総合福祉センター管理事業			コード	61202	
2 担当部課	部等	健康福祉部	課等	社会福祉課	作成者	小林隆志
3 事業概要	目的体系	基本目標	ともに支えあい、健やかに暮らせるまち			
		政策	福祉の充実	施策	地域福祉の推進	
		予算科目	総合福祉センター管理事業費	業務委託	全部委託	
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし	
		設置条例	おかや総合福祉センター条例			

●事業の内容（D0）

4 施設の概要・設置目的

*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）

施設の概要 (簡潔に)	温泉と研修室が伴う市民福祉と生涯学習の拠点施設として、より多くの人に利用してもらう施設の継続運営を行う。	
目的	対象者	市民ほか
	意図	乳幼児から高齢者、また障害者など誰もが集い、憩い、交流できる場

5 施設の管理運営状況

指定管理者	社会福祉法人岡谷市社会福祉協議会	25年度指定管理料	100,902,991 円
施設における 通常業務	岡谷市社会福祉協議会を指定管理者として指定し、館の管理運営が行われた。お客様目線での接客マナーや利用者のニーズに応えられる施設運営に積極的に取り組み、光熱水費をはじめとする経費削減に努めた。		
事業の実施内容	<p>(25年度に施設で行った運営事業・自主事業など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の意識意欲向上のためのOJT教育などの研修を実施した。 ・ロビーでの展示やコンサート、芝生広場でのフリーマーケットの開催など、地域の方々が活性化する場として活用し回数も増やした。 ・諏訪湖畔の環境とマッチングさせての集客等運営に努めた。 ・「ハイックリーンアップ2013」と称し、館内外の整備の徹底を図った。 		
前年度の課題 への対応	ロビーの活用回数の増など、来館者のニーズの把握に努め、利用者目線でのサービス向上対策を実施した。また、接客マナーの維持向上に向けた研修会を実施した。		

6 施設の利用状況

*②・③はどちらかの欄に記入

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 施設稼働率	89.4%	100.0%	100.0%	
年間開設日数(日)	348	347	347	347
1日の開設時間(時間)	13	13	13	13
年間利用可能時間(時間)	4,524	4,511	4,511	4,511
年間利用実績(時間)	4,043	4,511	4,511	
② 年間利用者数(人)	152,066	153,128	154,458	153,600
有料利用者数	130,658	133,539	133,779	133,600
無料利用者数	21,408	19,589	20,679	20,000
減免措置者数	0	0	0	0
③ 年間利用件数(件)	110,494	114,802	113,676	115,000
有料利用件数	58,522	65,047	63,453	65,000
無料利用件数	0	0	0	0
減免措置件数	51,972	49,755	50,223	50,000
④ 1日あたり利用者数、件数	754.5	772.1	772.7	774.1
⑤ 施設利用状況の説明	ピークと考えられた利用者数を維持している状態			

7 コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 直接事業費	100,346,362	101,885,760	103,108,389	103,884,000
経常経費	97,895,830	100,744,410	101,008,389	103,884,000
臨時的経費	2,450,532	1,141,350	2,100,000	0
* 臨時的経費の説明	工事請負費、備品購入費			
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
② 人件費	3,200,000	4,000,000	3,200,000	3,200,000
正規職員の人数(人)	0.40	0.50	0.40	0.40
③ 合計コスト(①+②)	103,546,362	105,885,760	106,308,389	107,084,000
前年度比		102.3%	100.4%	100.7%
財源	75,759,202	78,077,205	78,830,259	79,290,000
一般財源				
内訳	27,787,160	27,808,555	27,478,130	27,794,000
特定財源				
* 特定財源の説明	総合福祉センター使用料			
④ 施設使用料年間収入額	25,845,525	25,920,550	25,693,025	25,921,000
⑤ 年間減免措置額	1,503,925	1,774,600	1,759,000	1,774,000
⑥ 受益者負担割合	27.3%	27.2%	26.6%	26.7%
⑦ 活動一単位あたりコスト	385	391	389	
前年度比		101.5%	99.4%	
⑧ コストに関する補足説明				

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

標準

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間（企業、NPO、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。		0
③ 民間（企業、NPO、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性＝施設の利用状況（項目6／住民の満足度）は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、事業の内容に反映している。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ 施設の利用者が増加した。	1	
1日あたり利用者数、件数	前年度比 100.1%	
⑤ 施設使用料収入が増加した。	1	0
施設使用料年間収入額	前年度比 99.1%	

●改善の内容(ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(施設の有効活用、施設サービスの向上、利用状況の向上を図る上で、現在課題になっていること)	
	<ul style="list-style-type: none"> ○経年劣化による施設及び設備の不具合が生じている。 ○利用者数においては、頭打ち状態と思われる。 ○温泉施設でのマナー問題や駐車場でいたずら行為など、ごく一部の利用者による一般の利用者への影響が心配される。 	
改善方法	(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容)	
	<ul style="list-style-type: none"> ○修繕が必要な箇所の洗い出しを行い、計画的なものとする。計画の打ち合わせを密に行う。 ○接遇を基本として施設の継続利用者の維持確保の方策を検討する。 ○ハイツの立地条件から観光客を対象とする集客方法も含め、新規利用者の獲得のための検討をする。 	
	改善開始時期	平成26年4月

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	A
13 大規模修繕の予定			
予定事業費	円	予定時期	
内容			